

壹碼のものを使用し最小半徑拾五鎖に布設し道床は秋葉原驛及御徒町驛共中心より前後七鎖半宛匍進防止の目的を以て碎石を使用し他は多摩川産精選砂利を使用せり

第七 停車場

停車場は途中神田(既設)秋葉原、御徒町の三ヶ所にして東京、神田、上野驛共連絡設備に大改築を加へ秋葉原驛は本屋を平地に御徒町驛は本屋を橋梁下に設け旅客は何れも階段により乗降場に達す、又秋葉原驛には他日小手荷物増加の場合を考慮し乗降場床には昇降機設置用の孔を設けたり今停車場設備を數字を以て示せば左の如し

秋葉原驛

橋下設備	
驛長事務室	六・〇 ^坪
小手荷物扱所	六・〇

同 保管所

出札室 六・〇

旅客溜り場 三四・五

驛員詰所 一・五

驛物置 一四・〇

湯呑所 七・〇

便所 三・五

乗降場設備

乗降場	六〇〇・〇
長	三〇〇 ^呎 ・〇
幅	三〇
高	三〇

驛長事務室 四・五^坪

乗客待合室 九・〇

水呑所 二ヶ所

御徒町驛

橋下設備

驛長事務室

六〇坪

小手荷物扱所

九・三

同 保管所

一・二

出札室

六・三

旅客溜り場

四六・二

驛員休憩所

三・二

驛員詰所

三・七

便所

二・六

乗降場設備

二一・四呎時

乗降場
幅
長
高

五〇〇〇
三〇〇

驛長事務室

四・五坪

乗客待合室

九・〇

水呑所

二ヶ所

第八 電気設備

東京上野間電気工事概要

(イ) 架空電車線

東京上野間架空電車線は今回開始の電車運轉の複線のみならず將來の増設線路をも電気運轉の計畫にて全線に亘り強度大なる鐵塔を使用し平均柱間距離は百三十呎にして架線方式は「コムバウンドカタナリ」式なり電壓は直流一千二百「ヴオルト」にして使用電線の種類は次の如し

電車線 B S 四零番相當溝付硬引銅線

吊架線 B W G 六番七本燃鋼線